

2012年 3 月 7 日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2012年4月30日】

団体名 NPO法人子どもの居場所・どんぐり分校

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

どんぐりプロジェクト

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

NPO法人「子どもの居場所・どんぐり分校」は、赤ちゃんから障がい児(者)、お年寄りまでが豊かに生きる社会の実現を目指して活動しています。5年間活動を行ってきましたが、子どもを取り巻く環境は年々悪化しています。そこで子どもに関わる全ての人の居場所作りとして、日常の活動の他に3大イベントとして「どんぐりプロジェクト」を申請しました。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

「キャンドルナイト」は、都立小山内裏公園に1000個の手作りキャンドルを並べ、お月見と一緒にエコを考える日にしました。キャンドルは給食の廃油を使って、近隣の小・中学校、都立南大沢学園特別支援学校の児童・生徒が作りました。当日は公園来園者に向けて、エコキャップの回収やミニコンサート、どんぐり喫茶のサービスを行いました。「餅つき会」は地域文化の伝承ということで、NPO法人子どもの居場所・どんぐり分校のスタッフと都立南大沢学園特別支援学校の生徒達が一緒に準備し、公園来園者に餅つき体験と試食会を行いました。「観劇会」は地域の小学校に劇団風の子の劇を出前し、一緒に感受性を豊かにする交流をしました。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

「キャンドルナイト」は、地域の小学校、中学校、都立南大沢学園特別支援学校の児童・生徒、NPO法人子どもの居場所・どんぐり分校のスタッフ及びボランティアの方々等沢山の方に作って頂きました。「キャンドルナイト・お月見会」が終わった後も使えるキャンドルを他の公園のイベントに使うことで好評を得ました。「餅つき会」は餅つき器ではなく、本物の杵でついた餅ということで、公園来園者の方々に好評でした。「観劇会」は今回近隣の小学校に出前しましたが、本物の劇を観て、子ども達は喜んでいました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

「キャンドルナイト・お月見会」は当日の朝まで雨でしたが、昼過ぎから曇り空になり開催できました。残念ながらお客さんは予定より少なかったのですが、雨上がりの公園に幻想的な光が満ち溢れて公園来園者には好評でした。「餅つき会」は、都立南大沢学園特別支援学校高等部の生徒と一緒に、初めて餅をついた5歳の男の子の喜んでいた姿が印象的でした。「観劇会」は近隣の小学生にとって地域の方と一緒に交流できるイベントになり、交流後も話題が広がりました。それぞれのイベントが地域の人達との絆を深めたものになりました。これからも続けていきたいと思えます。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり。特になし

キャンドルナイト・お月見会

共催 都立小山内裏公園 & NPO 法人子どもの居場所・どんぐり分校 (Shinjo プロジェクト真如苑助成事業)

東日本大震災の復興を願い～亡くなられた方の鎮魂を込めて～

(NPO子どもの居場所・どんぐり分校では、現地の子ども達に「出前観劇会

(劇団風の子東北)」を11月と12月に出張して実施する予定です。)

日時 9月17日(土)

18:00～20:00

場所 都立小山内裏公園

<プログラム>

場所(研修室)

17:00～お話し「自然のお話し」

公園所長 木本ひろみ

17:30～キャンドル点火

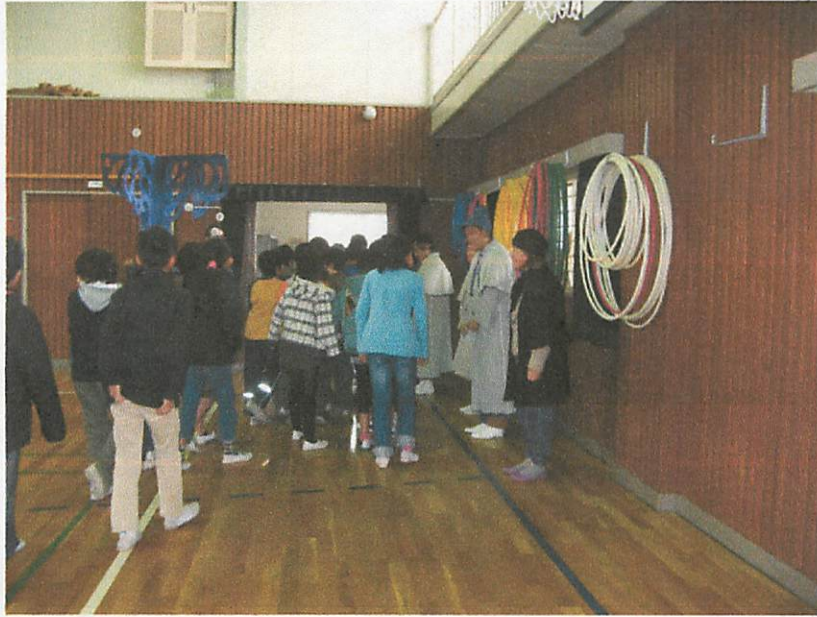
18:00～コンサート開始

(園庭)

15:00～18:00どんぐり喫茶

19:15～みんなで歌おう

20:00～キャンドル消火・終了



「劇団風の子」による劇が終わり劇団員と握手する生徒たち

12月9日観劇会（タイトル：風的一座）於：南大沢小学校

例年になく寒い日で、それでなくても寒い体育館での上演でしたが、子どもたちは飽きることなく劇に見入っていました。一年生から六年生までと年齢の幅の広さを懸念していましたが、それぞれがそれなりに感動しているようでした。地域の方など大人も純粋に楽しめたようでした。

劇が終わり、劇団員の方と握手をしたりととても和やかな雰囲気でした。先生方からも生の劇を鑑賞できとても貴重な体験ができ良かったと感想をいただきました。